

平成22年度
NII情報リテラシー教育担当者研修
(大阪大学会場)
グループ討議発表

学術情報リテラシー教育プランの策定

- 第1班 マネジメント(企画立案・運営・授業評価)
- 平成22年10月22日(金)

未来の私からアドバイス

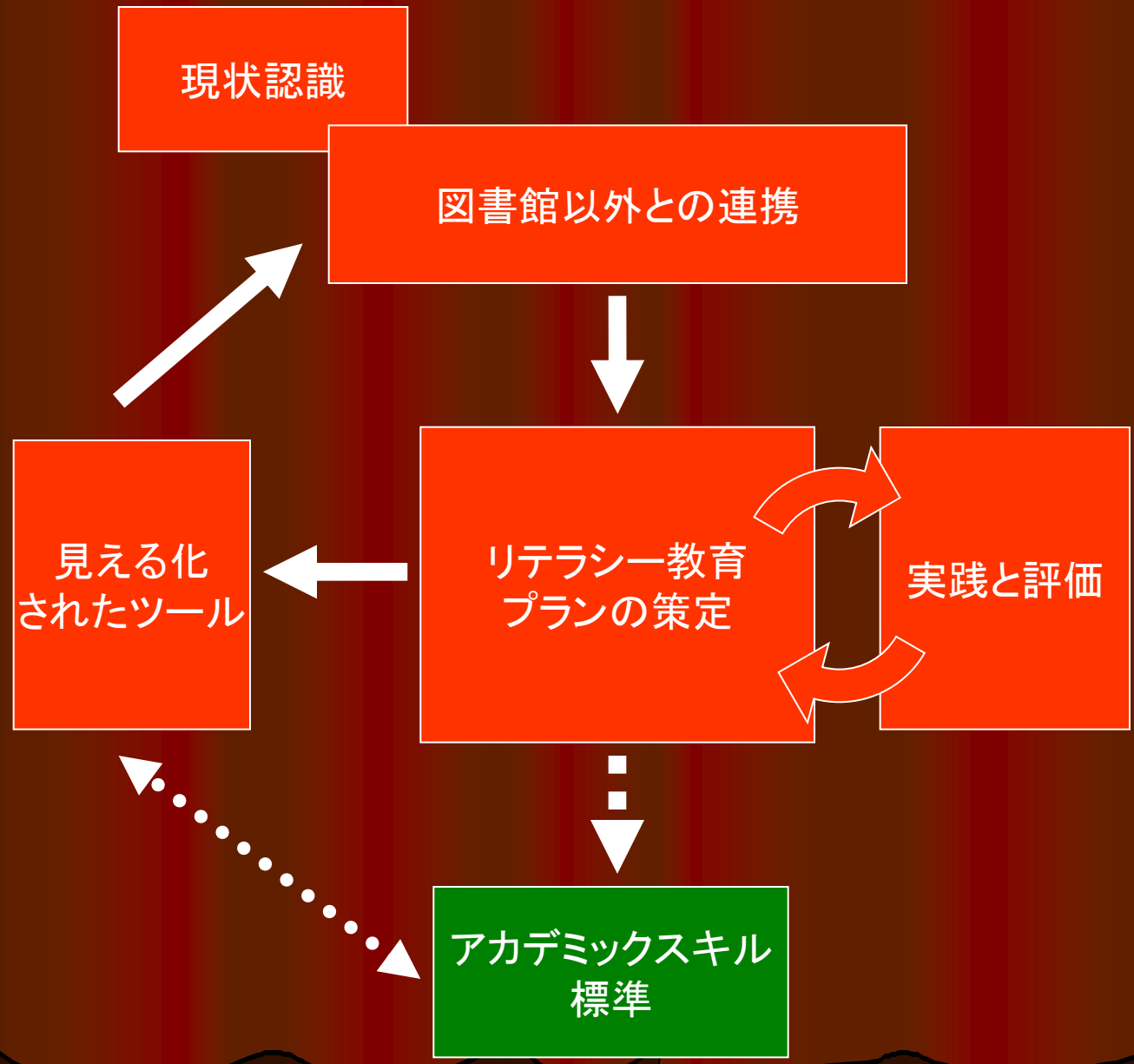
5年後の私から

今の私へアドバイスできることは何？

- ・NIIのリテラシー研修にまず参加すべし。
- ・リテラシー教育を網羅し全体を一覧できる、スキルマップを見せる。

リテラシー教育プラン

策定の展開図



現状認識

- 学外からの暗黙のプレッシャー
 - 学術情報基盤の今後の在り方について(報告)
 - 海外の動向
- 学内環境
 - 大学の経営戦略
 - 図書館員の立ち位置(異動や雇用形態)
図書館員は絶滅危惧種か？

図書館以外との連携

- 教員との連携

授業への関わりの深化

- 他の部署との連携

教務担当・就職担当・留学生担当 etc.

- 地域との連携

リテラシー教育プランの策定

- 全体を俯瞰する体系化された学習プラン策定
 - 学年進行に合わせた到達レベルの設定
 - 有機的にデザインされたもの
 - 見える化したスキルマップ作成する



- 魅力的で学生が参画しやすいものへ

実践と評価

- 見える化したスキルマップに沿った継続的・計画的な実践
- 適切な時期、適切な方法による評価
 - ・アンケートやグループインタビューなどを効果的に組み合わせる
 - ・PDCAサイクルに乗せた継続的評価と改善



- より洗練されたものを指向する

見える化できたものがあれば

- 教員へのオーダーメイドのプラン提示
→更なる波及効果が期待できる
- 教育活動への積極的な支援が可能になる
- 学習者も指導側も現状のスキルを確認できる

- 達成感を得て、次のステップアップの道筋を描くことができる

アカデミック・スキル標準

- 経済産業省が普及を進めるスキル標準 (Standard)
ITスキル標準 (2002年)、社会人基礎力 (2006年)
- アカデミック・スキルも標準化されたものを文科省
またはNIIが監修して作って欲しいところ。
→ (仮称) Academic Skill Standard (ASS)
 - ・ 学術情報リテラシーの範囲を明確化し、能力レベルの設定を施した、全体を俯瞰できるスキルマップ
 - ・ 狭義の情報リテラシーも包摂して再定義する